

地域福祉関係事業評価結果報告書の概要

評価の背景

平成26年3月に策定された「本庄市地域福祉計画」の中間年にあたり、計画と「理念と仕組み」を共有する高齢者・障害者・児童分野の個別福祉事業計画に掲載された事業（193事業）を“地域福祉の視点”から評価しました。

評価事業掲載計画

- 第7次高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画
- 第2期本庄市障害者計画・第4期本庄市障害福祉計画
- 本庄市子ども・子育て支援事業計画

評価の結果

事業全体の傾向

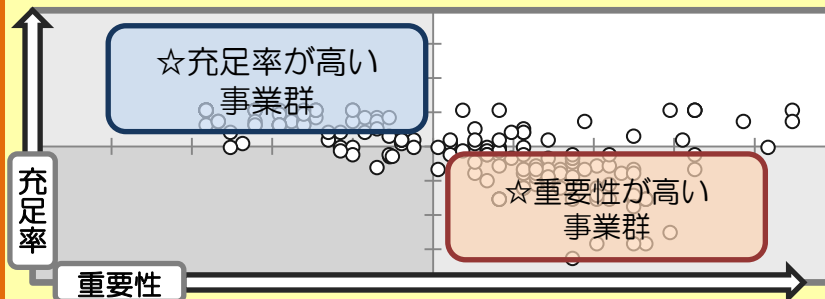
☆本庄市の強み

- 専門職、公的機関同士の情報共有や連携、ネットワークづくりに対する意識が高い

☆本庄市の弱み

- ボランティアやNPO法人等との連携やネットワークづくりへの意識が弱い
- 制度のはざままで支援を必要としている人への支援への意識が弱い
- 事業の利用しやすさや事業への参加のしやすさへの認識が薄い

個別事業の傾向



☆ 事業の充足率が高く評価された事業

道路や、交差点の整備、施設の整備など、社会インフラの整備に関する事業が多く分布

☆ 事業の重要性が高く評価された事業

相談や情報提供に関する事業や、地域の支援体制づくりに関する事業等、市民生活に直結する事業が多く分布

今後の方向性

- 具体事業において、充足率をさらに高める中で、本市の強みをさらに高め、弱みを克服するための施策の検討（平成29年度）
- 地域福祉の理念と仕組みをさらに浸透させていくための議論の拡大（平成29年度）

第2期本庄市地域福祉計画の策定（平成30年度）